

平成31年度予算

アナ： 「市長が語る 2019 三島」第1回となります本日は、平成31年度予算について、お話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： 平成31年度の予算のうち、福祉や教育など市役所の基本的な業務に関わる一般会計予算は、豊岡市政3期目のスタートとして、前年度を上回る359億円となったと伺っています。

では、予算を編成する上での基本的な方針はどういったものだったのでしょうか。

市長： まず1つ目に、「やすらぎのガーデンシティに人が集う魅力あふれるまちづくりと未来を拓く産業・観光の振興」、
2つ目に「人生100年時代に向けたスマートウェルネスの推進と歴史と文化が花開く個性豊かな教育・文化の創造」、
そして最後に「コミュニティの力で築く安全・安心な地域づくりと 思いやりの心でつなぐ子育て・福祉の充実」という3つの基本方針を掲げました。

アナ： この3つの基本方針にはそれぞれどのような事業が予定されているのか、主なものを教えていただきたいのですが、まず1つ目の柱「やすらぎのガーデンシティに人が集う魅力あふれるまちづくりと未来を拓く産業・観光の振興」について、教えていただけますか。

市長： 第一の柱では、まず、三島駅南口東街区再開発につきまして、引き続き市民の皆様にご意見を伺いつつ、的確な事業の推進に向け、交通処理計画の策定や費用便益分析などを行ってまいります。

「“ふじのくに”のフロンティアを拓く取組」といたしましては、三ツ谷工業団地及び塚原地区優良田園住宅の造成工事を完了いたしますとともに、医療・健康関連企業の誘致を促します三島総合病院西側のアクセス道路の整備を、引き続き進めてまいります。

また、豊かな自然環境を残す清住緑地につきましては、JR三島駅から柿田川公園を結ぶ回遊ルートの拠点となるよう、水の都に相応しいビオトープ公園として整備いたしますほか、現在開催されております静岡デスティネーションキャンペーンを通じて、三島市の魅力を全国に発信し、観光産業の発展と地域経済の活性化に結んでまいります。

アナ： ビオトープ公園は、市民や観光客にとって魅力的な憩いの場になりそうですね。次に、2つ目の柱「人生100年時代に向けたスマートウェルネスの推進と歴史と文化が花開く個性豊かな教育・文化の創造」には、どのような事業があるのでしょうか。

市長： 第二の柱では、順天堂大学と連携して幼少期からスポーツに触れる機会を増やすなど、スポーツ人口の増加につなげますほか、市民温水プールにつきましては、ウォータースライダーやプールサイドの改修を行ってまいります。

また、小中学校におきましては、夏の暑さ対策として、すべての小中学校に空調設備の設置を進めているところですが、本年度は、屋外活動にも配慮してミストシャワーを設置してまいります。

市民文化会館につきましては、大小ホールの音響・照明設備なども含めました大規模改修に着手し、文化創造交流拠点として2020年秋のリニューアルオープンを目指してまいります。

アナ： 3つ目の柱「コミュニティの力で築く安全・安心な地域づくりと思いやりの心でつなぐ子育て・福祉の充実」では、どのような子育て支援策を盛り込まれたのでしょうか。

市長： 就労と子育ての両立を支えるため、民間児童福祉施設の認定こども園への移行などを助成いたしますほか、西小学校を含む3校区の放課後児童クラブについて、余裕教室を改修し定員を増やすなど、待機児童の解消に努めてまいります。

高齢者福祉といたしましては、保健事業と介護予防の連携を強化し、更なる健康寿命の延伸と暮らしの幸せにつなげますほか、障がい者の支援といたしまして、佐野あゆみの里を防災拠点とする民間障害者施設等とのネットワークを拡大するなど、共生社会の実現に取り組んでまいります。

また、本年は、9月1日を中心に「静岡県・三島市・函南町総合防災訓練」を実施いたしますので、多くの市民にもご参加をいただき、地域の防災力向上につなげてまいります。

これら3つの方針に掲げました事業を、チーム三島一丸となって取り組むことにより、「元気・安心・希望あふれる三島」への飛躍に結んでまいります。

アナ： これからも、市長が掲げられている「美しく品格のあるまちづくり」、「人もまちも産業までも健康で幸せなまちづくり」を、是非期待しております。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。